

今号の主な記事	
2面	コロナ禍で頑張る区内事業者紹介、申請社会教育学級、専門相談をご利用ください
3面	福祉の相談窓口を開設します、情報ボックスほか
4面	コロナ禍で働くかたへの感謝メッセージ募集ほか

No.2078

令和2年
(2020年) 9/15
毎月5・15・25日発行



めぐろ区報

人口と世帯	
住民記録者数……	282,366人
(うち外国人数……)	9,159人
男……………	133,468人
女……………	148,898人
世帯数……………	159,270世帯
2.9.1現在の住民記録による	

池の水抜きます！ 駒場野公園大池のかいぼり

環境回復を目的とした、駒場野公園大池のかいぼりを行います。

昨年は試験的に一部だけ、かいぼりを行いました。今年は本格的に行います。普段見ることのできない、池の中に生息する生き物や植物を観察できる機会です。感染症対策のため、参加者の募集は行いませんが、見学は自由です。11月8日を予定しています。詳細は、ホームページ（右コード）でお知らせします。

園みどり土木政策課みどりの係（☎5722－9355、FAX3792－2112）



かいぼりって？

本来、農業用のため池を健全な状態に保つ管理作業の一つです。現在は、公園などの池の水質改善のために行われることが多く、池の水を抜き、天日干しすることで、余分な栄養を減らし、池の環境を復活させることを目指しています。

かいぼりの流れ

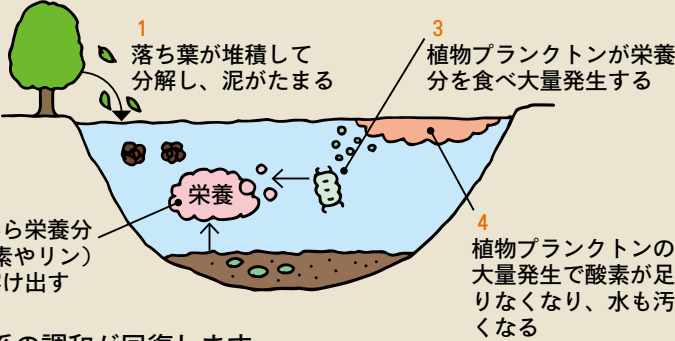
- ①水を抜く
- ②残された生き物を捕獲する
- ③池の底にたまっている泥をさらう
- ④一定の期間、池の底を天日干しする
- ⑤水を入れて、在来種を戻す



かいぼりの効果

- 水がきれいになります
池の底にたまった栄養分を含む泥は、水を汚くしています。泥をさらい、天日干しすることで、栄養分が減るため、植物プランクトンが抑えられ、水の濁りが改善されます。

かいぼりをしないと、池はどうなる



- 生態系の調和が回復します
在来種の生息を脅かし、激減させてしまう外来種がいます。外来種を取り除くことで、在来種を守り、希少種が生息できるようになります。
- 水草の種の発芽が期待できます
池の底泥には、たくさんの植物の種子が眠っています。池の底に光が届くようになるなど、種子が目覚ます可能性が期待できます。



駒場野公園（駒場2－19－70）

捕獲した生き物を 展示します

かいぼりで捕獲した生き物を、駒場野公園内にある自然観察舎（☎3485－1754）で展示します。詳細はホームページでお知らせします。また、3年1月下旬頃まで池底を天日にさらす予定です。ぜひご覧ください。

